



ブロンセリン錠「トローワ」を 服用される患者さんとそのご家族へ

監修 名古屋大学大学院医学系研究科
発達・老年精神医学分野 講師 **岩本 邦弘 先生**

Contents

薬の服用を始める前に	3
薬の保管について	3
ブロナンセリン錠「トーワ」の働きについて	4
ブロナンセリン錠「トーワ」の服用について	6
服用中の注意点	8
副作用について	9
すぐに相談する必要がある副作用	11
医師の指示通りに服用を続けてください	12

ジェネリック医薬品について

ジェネリック医薬品とは、新薬（先発医薬品）の特許期間などが過ぎた後に他の製薬会社から製造・販売され、有効成分、効き目、品質、安全性が新薬と同等であるお薬のことです。

ブロナンセリン錠「トーワ」はジェネリック医薬品で、効き目や安全性などが先発医薬品と同等であることが国から認められています。

薬の服用を始める前に

下記に該当する項目がある場合は、服用する前に医師または薬剤師に伝えてください。

- 以前に薬を服用して、かゆみ、発疹などのアレルギー症状が出たことがある
- 他の薬（市販の薬を含む）や健康食品、サプリメントなどを服用している
- 肝臓が悪いと言われたことがある方
- 糖尿病の方、過去に糖尿病になったことがある方、血糖値が高めと言われたことがある方、肥満傾向の方、家族に糖尿病の方がいる方
- 妊娠または妊娠している可能性がある方、授乳中の方

薬の保管について

誤って飲んでしまわないように、子どもの手の届かないところに保管してください。



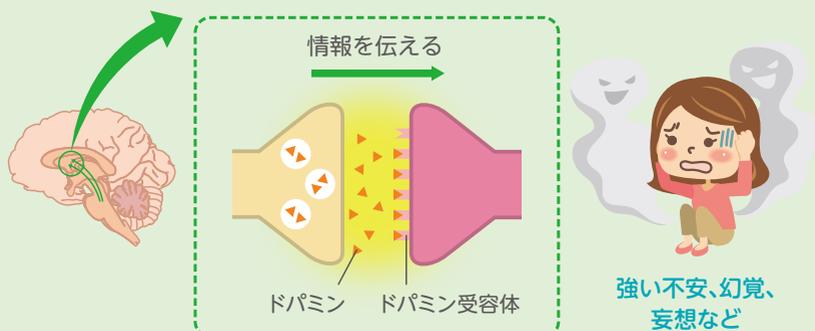
ブロナンセリン錠「トーワ」の働きについて

統合失調症では、脳内の情報伝達が上手く働かない状態になっていると考えられています。

脳内の情報伝達を行う物質のうち、統合失調症に深い関わりがあるのがドパミンです。ドパミンが多くなり過ぎると、強い不安、幻覚、妄想などの症状があらわれます。逆に、ドパミンが少なくなり過ぎると、やる気が起きない、思考力の低下などの症状があらわれます。

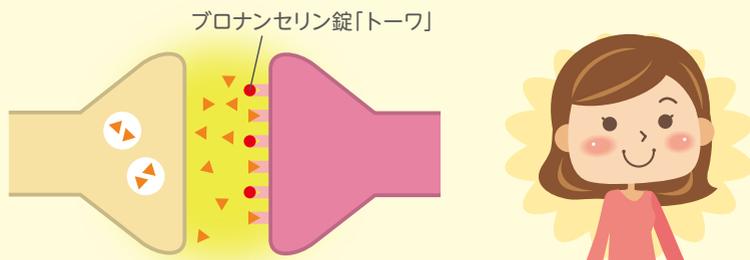
ブロナンセリン錠「トーワ」は、多すぎるドパミンの量を調整し、主として強い不安、幻覚、妄想などの症状を改善します。またドパミンだけでなく、ドパミンと関係があるセロトニンなどの量・働きを調節することで、やる気が起きない、思考力の低下などの症状を改善する働きが期待されます。

脳内のドパミンの量が多くなり過ぎている状態

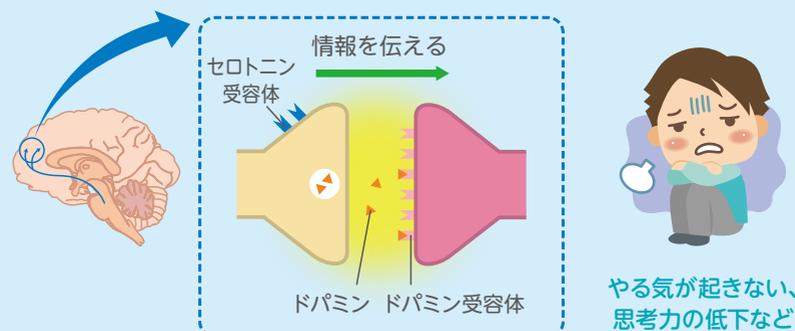


ブロナンセリン錠「トーワ」を服用

ドパミンの受容体をブロックして、症状を改善します。

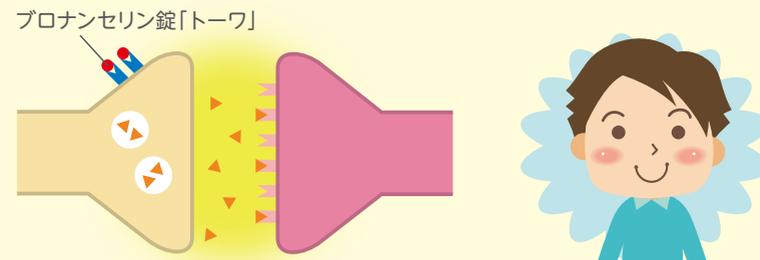


脳内のドパミンの量が少なくなり過ぎている状態



ブロナンセリン錠「トーワ」を服用

セロトニン受容体を介してドパミンの量を調節し、症状を改善します。



ブロナンセリン錠「トーフ」の服用について

ブロナンセリン錠「トーフ」の種類

ブロナンセリン錠「トーフ」には、有効成分の量が異なる3種類の錠剤があります。

医師から指示された種類の錠剤を、指示された錠数、服用してください。

3種類のブロナンセリン錠「トーフ」

2mg錠



(85%縮小)

4mg錠



(85%縮小)

8mg錠



(85%縮小)



(原寸大)



(原寸大)



(原寸大)

ブロナンセリン錠「トーフ」の飲み方

食後に、コップ1杯程度の水またはぬるま湯と一緒に服用してください。空腹時に服用すると、効き目が弱くなることがありますので、ご注意ください。



- この薬は、徐々に服用量を増やしながら、必要な量に調整していきます。
- この薬は、毎日服用し続けることが大切です。自分の判断で、服用量や服用する回数を調整したり、服用を中止したりせず、医師の指示通りに服用してください。

飲み忘れた場合

気づいた時点で、1回分を食後または軽食をとってから、服用してください。ただし、次の服用時間が近い場合は1回とばして、次の服用時間に1回分を服用してください。決して2回分を一度に服用しないでください。

誤って多く服用した場合

異常を感じましたら、医師または薬剤師に相談してください。

服用中の注意点

自動車の運転などの危険を伴う機械の操作は避けてください

この薬の服用中は、眠気や注意力・集中力・反射能力などの低下がおこることがあります。



アルコール飲料は控えてください

この薬の作用を強めることがあります。



グレープフルーツジュースと一緒に服用しないでください

この薬の作用を強めることがあります。



他の薬を服用する際は、医師または薬剤師に相談してください

この薬と飲み合わせが悪い薬がありますので、他の薬を飲み始める際には、医師または薬剤師にこの薬を飲んでいることを伝えてください。

副作用について

この薬を服用すると、次のような副作用があらわれることがあります。

血糖値が上昇することがあります

- 以前よりものが渇く、水などを多く飲む、尿が多く出る、尿の回数が増える、だるい、などの症状があらわれた場合は、服用を中止し、ただちに受診してください。
- 糖尿病の方や過去に糖尿病になったことがある方、高血糖や肥満傾向の方、家族に糖尿病の方がいる方は、定期的に血糖値を測定する場合があります。

興奮や敵意などの症状(陽性症状)が悪化することがあります

陽性症状の悪化がみられた場合は、医師または薬剤師に相談してください。



副作用について(つづき)

その他に、あらわれやすい主な副作用は下記の通りです。

●パーキンソン症候群

手足のふるえ、筋肉のこわばり、動きが遅い、など

●アカシジア

座ってじっとしてられない



●ジスキネジア

無意識に口が動く、手足が勝手に動く

●不安、イライラしやすい、怒りっぽい

●月経不順や乳汁の分泌がみられる

●夜に眠れない、または日中に眠くなる

上記の症状や、他に気になる症状がありましたら、
医師または薬剤師に相談してください。

すぐに相談する必要がある副作用

服用中に次のような症状があらわれましたら、すぐに受診して医師に相談してください。

急激な発熱、発汗、呼吸数が増える、
筋肉のこわばり、手足のふるえ、飲み込みにくい、
ぼーっとする・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 悪性症候群

本人の意志とは無関係に、
顔、特に口の周囲が絶え間なく動く・・・・・・ 遅発性ジスキネジア

お腹が張る、腹痛、吐き気・嘔吐、
著しい便秘・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 麻痺性イレウス

筋肉が痛む、手足がしびれる、
こわばり、全身がだるい、
赤褐色(赤みをおびた)尿がみられる・・・・・・ 横紋筋融解症

突然の高熱、寒気、のどの痛み・・・・・・ 無顆粒球症、白血球減少

胸の痛み、突然の息切れ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 肺塞栓症

皮膚が青紫～暗紫色になる、
下肢のむくみ、下肢の痛み・・・・・・・・・・・・ 深部静脈血栓症

医師の指示通りに服用を続けてください

自己判断で服用を中止しないでください

ブロナンセリン錠「トーフ」を服用して症状が改善しても、医師の指示がない限り、服用を中止しないでください。

自己判断で服用を中止すると、症状の悪化、離脱症状（薬の急な中止によってあらわれる不快な症状）があらわれる恐れがあります。

また、再発を予防するため、症状がなくなっても服薬を継続することが重要です。

調子がよい状態でも、医師の指示通りに服用を続けてください。

気になる症状がある場合は医師または薬剤師に相談してください

服用中に何か気になる症状がありましたら我慢せず、医師または薬剤師に相談してください。



服用を忘れないための工夫をしましょう

服用を忘れないように、次のような工夫をしてみましょう。

食事の前に、薬を準備しておく。

※ブロナンセリン錠「トーフ」は食後に飲む薬です。



服用したら、カレンダーに印をつける。

カレンダーは目立つところに貼っておくとよいでしょう。



家族同士で、飲み忘れていないか確認する。



